



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 オカダアイオン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6294 URL http://www.aiyon.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 祐司
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 前西 信男 TEL 06-6576-1281
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	12,470	△3.2	988	1.2	1,019	4.1	606	4.6
2020年3月期第3四半期	12,881	△0.2	976	△18.5	978	△20.4	580	△23.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 573百万円 (△3.0%) 2020年3月期第3四半期 591百万円 (23.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	75.92	75.41
2020年3月期第3四半期	71.49	70.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	21,681	11,066	50.9	1,379.41
2020年3月期	21,617	10,715	49.3	1,336.28

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 11,031百万円 2020年3月期 10,659百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	28.00	28.00
2021年3月期	-	0.00	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	-	-	28.00	28.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	△10.9	1,000	△26.9	1,000	△25.8	650	△26.5	81.44

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	8,378,700株	2020年3月期	8,378,700株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	381,715株	2020年3月期	402,015株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	7,990,673株	2020年3月期3Q	8,115,685株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済及び世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の停滞による消費の冷え込み等により景気が停滞し、予断を許さない状況が続いています。

このような環境のもと、当社グループは、解体・インフラ工事、災害復興、リサイクル、再生エネルギー関連の建設・産業用機械を取り扱っており、行政の指導のもと従業員や関係する皆様方の感染防止に努めつつ事業活動を継続し、顧客要請に対応した安定的な商品供給とアフターサービスを心がけてまいりました。また、接待費・出張費の抑制運用や会議のリモート化等により経費削減にも注力してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高12,470百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益988百万円（前年同期比1.2%増）、経常利益1,019百万円（前年同期比4.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益606百万円（前年同期比4.6%増）と減収ながら増益を確保しました。尚、販売費及び一般管理費は2,562百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

国内セグメントは、売上高8,380百万円（前年同期比4.5%減）となりました。機種別には、首都圏を中心にコロナ禍中での買い控え影響等もあり、主力の圧砕機の売上高は3,925百万円（前年同期比11.1%減）、油圧ブレーカの売上高は575百万円（前年同期比8.5%減）となりました。一方で、木造解体や災害復興等の用途が見込まれるつかみ機は売上高684百万円（前年同期比31.7%増）となりました。また、バイオマス発電向け等の需要が堅調な環境関連機器は、売上高1,143百万円（前年同期比17.4%増）となりました。アフタービジネスについては、原材料売上高が936百万円（前年同期比6.7%減）、修理売上高は559百万円（前年同期比4.3%減）となりました。その結果、セグメント利益は740百万円（前年同期比1.1%減）という結果になりました。

海外セグメントは、売上高2,020百万円（前年同期比10.4%減）となりました。世界的に、コロナ感染拡大が進む中、事業活動は継続したものの活動制限が大きく、米国では売上高1,313百万円（前年同期比18.3%減）で減収となりましたが足許ではやや持ち直しました。一方で、2020年1月に現地法人化した欧州は売上高340百万円（前年同期比10.6%増）、2019年度苦戦が続いたアジア地域は、新商材の投入により売上高331百万円（前年同期比10.3%増）と共に回復傾向となりました。セグメント利益は米国での減収影響が大きく203百万円（前年同期比15.9%減）となりました。

南星セグメントは、売上高2,070百万円（前年同期比11.8%増）となりました。コロナ禍中での買い控え影響等もあり林業機械は売上高516百万円（前年同期比6.5%減）となったものの、金属スクラップ機械は大型位置ローダの納入により売上高259百万円（前年同期比17.8%増）、ケーブルクレーン部門は再生可能エネルギーとして見直されている水力発電所の改修工事が順調で売上高842百万円（前年同期比46.1%増）となりました。セグメント利益は、70百万円（前年同期比289.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、21,681百万円（前連結会計年度末21,617百万円）となり64百万円増加しました。受取手形及び売掛金が956百万円、建設仮勘定が257百万円それぞれ減少しましたが、現金及び預金が457百万円、建物及び構築物が348百万円、土地が242百万円、長期貸付金が230百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、10,615百万円（前連結会計年度末10,901百万円）となり286百万円減少しました。長期借入金が382百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が726百万円、賞与引当金が114百万円それぞれ減少したことが主な要因です。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、11,066百万円（前連結会計年度末10,715百万円）となり351百万円増加しました。剰余金処分として配当の支払223百万円がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益606百万円を計上したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2020年8月7日発表の公表値を据え置いております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、計画を若干上回って推移し、経常利益に関しては既に通期の連結業績予想を超過しておりますが、国内外での新型コロナウイルスの感染再拡大、特に国内での緊急事態宣言の再発出により、今後の業績影響の見通しを立てにくいことを勘案し、現時点では通期連結業績予想の修正は行わないことといたしました。

なお、今後各種情報の収集等により業績予想に変更が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,193,817	3,651,149
受取手形及び売掛金	4,930,165	3,973,449
商品及び製品	3,841,732	3,780,322
仕掛品	255,020	362,768
原材料及び貯蔵品	2,659,520	2,568,268
その他	452,712	334,755
貸倒引当金	△11,225	△8,792
流動資産合計	15,321,743	14,661,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,298,187	2,646,918
機械装置及び運搬具(純額)	598,801	594,514
土地	2,020,793	2,263,028
建設仮勘定	263,840	6,400
その他(純額)	78,927	74,925
有形固定資産合計	5,260,550	5,585,786
無形固定資産		
のれん	104,734	73,314
その他	262,434	424,626
無形固定資産合計	367,169	497,940
投資その他の資産		
投資有価証券	249,069	296,194
長期貸付金	—	230,000
繰延税金資産	334,900	315,949
その他	86,394	97,626
貸倒引当金	△2,816	△3,437
投資その他の資産合計	667,547	936,333
固定資産合計	6,295,267	7,020,060
資産合計	21,617,010	21,681,981

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,537,877	2,811,293
短期借入金	3,354,405	3,451,750
1年内返済予定の長期借入金	456,472	558,470
未払法人税等	142,741	203,069
賞与引当金	215,037	100,625
その他	751,237	642,490
流動負債合計	8,457,770	7,767,698
固定負債		
長期借入金	1,920,132	2,302,440
退職給付に係る負債	480,448	496,767
その他	43,641	48,942
固定負債合計	2,444,222	2,848,150
負債合計	10,901,993	10,615,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,221,123	2,221,123
資本剰余金	2,263,081	2,271,057
利益剰余金	6,431,883	6,815,192
自己株式	△268,250	△254,709
株主資本合計	10,647,838	11,052,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,094	48,405
繰延ヘッジ損益	△1,513	△729
為替換算調整勘定	△5,321	△69,221
その他の包括利益累計額合計	11,259	△21,544
新株予約権	55,918	35,013
純資産合計	10,715,017	11,066,132
負債純資産合計	21,617,010	21,681,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	12,881,756	12,470,934
売上原価	9,110,285	8,920,205
売上総利益	3,771,470	3,550,729
販売費及び一般管理費	2,794,950	2,562,695
営業利益	976,520	988,033
営業外収益		
受取利息	4,937	3,922
受取配当金	8,670	8,676
固定資産売却益	7,207	34,303
その他	22,605	22,046
営業外収益合計	43,420	68,948
営業外費用		
支払利息	21,168	26,042
債権売却損	3,675	2,077
為替差損	7,964	8,940
その他	8,460	647
営業外費用合計	41,269	37,708
経常利益	978,670	1,019,273
特別利益		
受取保険金	—	8,593
新株予約権戻入益	—	12,928
特別利益合計	—	21,521
特別損失		
固定資産処分損	—	15,453
災害による損失	—	6,960
特別損失合計	—	22,413
税金等調整前四半期純利益	978,670	1,018,381
法人税等	398,507	411,725
四半期純利益	580,163	606,655
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	580,163	606,655

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	580,163	606,655
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,936	30,311
繰延ヘッジ損益	2,784	784
為替換算調整勘定	△5,260	△63,899
その他の包括利益合計	11,460	△32,804
四半期包括利益	591,624	573,850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	591,624	573,850
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	南星	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,775,795	2,254,797	1,851,163	12,881,756	—	12,881,756
セグメント間の内部売上高 又は振替高	269,240	2,089	142,421	413,751	△413,751	—
計	9,045,036	2,256,886	1,993,584	13,295,507	△413,751	12,881,756
セグメント利益	748,675	241,418	18,104	1,008,198	△31,678	976,520

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△31,678千円の内訳は、のれんの償却額△31,420千円及びセグメント間取引消去△258千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	南星	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,380,616	2,020,160	2,070,158	12,470,934	—	12,470,934
セグメント間の内部売上高 又は振替高	303,608	3,729	124,802	432,140	△432,140	—
計	8,684,224	2,023,889	2,194,961	12,903,075	△432,140	12,470,934
セグメント利益	740,722	203,054	70,487	1,014,264	△26,230	988,033

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△26,230千円の内訳は、のれんの償却額△31,420千円及びセグメント間取引消去5,189千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。